

大会1日目:10月20日(金) 概要

会場A			
時間	セッションタイトル	座長/ コーディネーター	演者/講演名
13:00-13:10	開会の挨拶		松山 尊吾先生 (日本製薬医学会/日本医科大学)
13:10-14:10 (90分)	招待講演: 薬物性障害と学業主導特種レジストリを用いたリアルワールドデータの活用 ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長> 基本和也先生 (日本製薬医学会)	演者: 笠原 孝生先生 (日本医科大学学長) 演題: 薬物性障害と学業主導特種レジストリを用いたリアルワールドデータの活用
14:10-14:20	休憩		
14:20-18:10 (110分)	<シンポジウム> リアルワールドデータの薬事規制への活用の現状と将来への展望 (MS部会セッション) ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長/ コーディネーター> 杉野 典先生 (アストラゼネカ/アステルバイオファーマーズスワイプ株式会社)	演者1: 山本 英樹先生 (中外製薬株式会社) 演題1: 医薬品開発におけるRWDの活用および統計的留意点 演者2: 弘 新太郎先生 (ファイザー/協和発酵工業株式会社) 演題2: 製造販売業者データベース研究におけるRWDの活用および統計的留意点 演者3: 安藤 友紀先生 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構) 演題3: (仮) PMDAにおけるRWDの活用のインシデントの紹介
18:10-18:20	休憩		
18:20-18:10 (110分)	<シンポジウム> MA部門が実施するデジタルエデュケーションイベントの意義と実践 (MA部会セッション) ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長> 西島 博一先生 (アストラゼネカ/アステルバイオファーマーズスワイプ株式会社) <座長/ コーディネーター> 村上 和也先生 (メルク/バイオファーマ株式会社)	演者1: 柴 延孝先生 (アストファーマ株式会社) 演題1: 製薬 MA部会「デジタルエデュケーション委員会」および「デジタルコースの実現」の意義と実践 演者2: 村田 洋子先生 (ヤンセンファーマ株式会社) 演題2: 製薬企業のデジタルファーマーズ部門が実施するデジタルエデュケーションの意義と実践 演者3: 横山 みなと先生 (東京医科大学医学部附属病院) 演題3: デジタルエデュケーションイベントへの期待 ~臨床医の立場から~

大会2日目:10月30日(土) 概要

会場A			会場B			
時間	セッションタイトル	座長/ コーディネーター	演者/講演名	セッションタイトル	座長/ コーディネーター	演者/講演名
9:10-9:30	会員総会					
9:40-11:20 (100分)	<シンポジウム> 製薬企業の立場から見た新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のCOVID-19セッション ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長> 松山 尊吾先生 (日本製薬医学会/日本医科大学) <座長/ コーディネーター> 久我 勉先生 (武田薬品工業株式会社) パネリスト: 小池 徹 先生 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構)	演者1: ジョリアン 暁希先生 (武田薬品工業株式会社) 演題1: COVID-19治療候補CoVla-19の開発について 演者2: 石井 崇子 先生 (株式会社日本イーライリリ) 演題2: SARS-CoV2肺炎の治療薬としてのパンシコブの開発について 演者3: 永野 淳先生 (Vif Therapeutics) 演題3: 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対するレプリックワクシンの開発	<シンポジウム6> MSLの価値、現状と今後の展望 ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長/ コーディネーター> 内田 一郎先生 (大阪大学大学院薬学研究科)	演者1: 森次 幸男先生 (MSD株式会社) 演題1: 製薬企業におけるデジタル・サイエンス・ソリューションの実現に関する調査～2021年度調査結果と考察～ 演者2: 清水 晋 先生 (住友製薬株式会社) 演題2: 社外薬科学専門家から見た本邦デジタルファーマーズ活動の現状および展望に関するアンケート調査 演者3: 八木 正典先生 (武田薬品工業株式会社) 演題3: 日本製薬医学会 MSL認証認定事業 認証基準改訂
11:20-11:30	休憩			休憩		
11:30-12:30 (60分)	基調講演: COVID-19の臨床(再発) (EPグループセッション) ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長> 丹生 卓先生 (APCER Life Science, 京都医科大学)	演者: 大前 典先生 (国立国際医療研究センター 国際感染症センター) 演題: COVID-19の臨床			
12:30-12:40	休憩			休憩		
12:40-13:40 (60分)	<共催セミナー> Agetaを用いた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」へのICを含む電磁化対応策 ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長> 榎野 知也先生 (公益財団法人がん研究倫理有明病院)	演者: 鎌倉 千恵美様 (アザラ株式会社) 演題: Agetaを用いた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」へのICを含む電磁化対応策	<シンポジウム7> アジア地域における製薬医学の課題と各園における取り組み ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長> 今村 昌子先生 (慶応大学大学院) <座長/ コーディネーター> 松山 尊吾先生 (日本医科大学)	演者: Dr. Marco Romano (IFAPP President) 演題: Message of the President
13:40-13:50	休憩			休憩		
13:50-15:30 (100分)	<シンポジウム4> リアルワールドデータの受容と今後の展望 (MS部会セッション) ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長/演者> 山本 英樹先生 (熊本大学大学院) <座長> 橋本 文代先生 (アストラゼネカ/協和発酵工業株式会社) <コーディネーター> 岸部 典先生 (キッセイ薬品株式会社)	演者1: 山本 英樹先生 (熊本大学大学院) 演題1: リスクコミュニケーションの現状とこれから 演者2: 松井 博志 先生 (ファイザー/協和発酵工業株式会社) 演題2: グローバルの観点から、将来の患者向製品情報について考える 演者3: 狭間 研聖先生 (ファルマテック株式会社) 演題3: 薬局薬剤師が持つベキリスクコミュニケーション 演者4: 松永 雄英先生 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構) 演題4: 製薬会社/リスクコミュニケーションに関する行政の取組み	<シンポジウム8> 製薬医学の教科書の興利に向けて (教育部会セッション) ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長/演者/コーディネーター> 内田 一郎先生 (大阪大学大学院薬学研究科)	演者1: 内田 一郎先生 (大阪大学大学院薬学研究科) 演題1: 今、なぜ製薬医学の教科書が必要なのか? 演者2: 西島 博一先生 (アストラゼネカ/アステルバイオファーマーズスワイプ株式会社) 演題2: 製薬企業が社内医師に何を求めているか? 医師が製薬企業内で活躍する必要性について 演者3: 安藤 友紀先生 (ジェンマブ株式会社) 演題3: 新たに製薬企業のMA部門で活躍するために必要な知識・能力・ソフトスキルについて 演者4: 中村 昌子先生、玉田 寛先生 (医薬品情報センター/産研研) 演題4: 医師研究員に必要な知識とスキル—製薬企業でのキャリアを伸ばすために—
15:30-15:40	休憩			休憩		
15:40-17:20 (100分)	<シンポジウム> HPVワクチン (大倉長生会セッション) ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長> 藤原 博一先生 (埼玉医科大学国際医療センター) <コーディネーター> 藤原 千恵美先生 (大日本住友製薬株式会社)	演者1: 宮城 成子先生 (横浜市立大学) 演題1: 子宮がんがHPV感染—世界と日本における子宮がん予防の情勢— 演者2: 上田 聖先生 (大阪大学) 演題2: HPVワクチンの動向と投入による子宮がんリスクの上昇—ワクワク普及に向けての課題と対策—	<シンポジウム9> 大倉長生会セッション ※【リアル参加】+【LIVE型Web配信】+【オンデマンド配信】	<座長> 川岸 孝治先生 (協和/アザラ株式会社) <座長> 藤原 千恵美先生 (日本製薬医学会)	演者1: 松山 尊吾先生 (日本医科大学) 演題1: 製薬医学における臨床研究の今 パネリスト: 森 雅彦先生 (ニューサイ株式会社) 演題1: 製薬研究員に必要な知識とスキル—製薬企業でのキャリアを伸ばすために— パネリスト2: 榎野 弘之先生 (公益財団法人がん研究倫理有明病院) パネリスト3: 藤原 千恵美先生 (国立国際医療研究センター 放射線医学総合研究所)
17:20-17:30	開会の挨拶		松山 尊吾先生 (日本製薬医学会/日本医科大学)			